

芝里籍
第
五分
社
論
書

西國立志編

原名
自助論

第五冊

9
4129
5



門 9
號 4129
卷 5



自助論第五冊目錄

第六編 藝業ヲ勉修スル人ヲ論ス

- ① 天才アリト雖也必ス勉強ノ力ヲ要ス
- ② 藝ヲ好ムノハ利ノ爲ニスルニ非ル事
- ③ 安日洛清廉淡薄ニシテ雕像學ヲ勉シ事
- ④ 秩襄一画ニ七八年ヲ費セシ事
- ⑤ 少年ノ聲譽ハ恃ニ足ザル事
- ⑥ 伴克斯小童ヲ勸勵ヒシ事
- ⑦ 古勞德羅倫萬象ヲ以テ師トナセシ事
- ⑧ 篤兒涅爾薄值ノ画ヲ輕ンゼザリシ事
- ⑨ 百爾理爾瞽者ノ相ト爲テ羅馬ニ遊シ事
- ⑩ 加洛ノ事

勝侯氏心齋

自助論第五冊目錄

① 尼格拉士保申ノ事

② 戎弗拉吉士面ノ事

③ 維爾啓談話ヲ好ザリシ事

④ 画工馬爾珍大画ヲ作ル時屢々餓死ニ迫リシ事

⑤ 惹迷斯沙不爾士鑄鐵工ニシテ画工雕工ヲ兼シシ事

⑥ 有名ノ樂師彊勉ニシテ倦ザリシ事

第七編 貴爵ノ家ヲ創タル人ヲ論

① 古者尊貴ノ族今ハ多ク平民ニ混スル事

② 現存スル貴爵ノ家多ク商賈ヨリ起リシ事

③ カ査福禮釘ヲ造ルノ秘ヲ探シト欲シ艱難ヲ蒙ルヘシ事

④ 維廉費布士沈船ノ貨財ヲ搜リ出セシ事

⑤ 戰功ニ由テ貴爵ヲ得タル人

⑥ 狀師等ヨリシテ貴爵ニ陞リシ例

斯邁爾斯自助論 一名西國立志編

第六編 藝業ヲ勉修スル人ヲ論ス

彌爾尼士ノ詩ニ曰。遠處ニ大ニ光輝ヲ發スルモノアリ。縱ヒ汝始ユレヲ捕得ザルトモ。再又コレヲ試ベシ。蓋シ善徳ハ藝事ヲ争躋スル中ニアリテ。利欲ニ汲々タル中ニハアラザルナリ。

①天才アリト雖モ必ズ勉強ノカヲ要ス

凡ソ藝業ヲ修テ。極妙極善ニ至ルモノハ。特ニ許多ノ辛苦勉強ニ由テ得ラル。ナリ。丹青ノ妙手。雕像ノ名工。一筆一カト雖モ。空ク施サズ。コレニヨリテ。次第ニ精神ヲ倍ス。或ハ才思ニモ由ベケレモ。畢竟學習ノ功ヲ積ルモノナリ。禮諾爾圖曰。誰ニテモ繪事ニ長ゼント欲スルモノハ。ソノ

心ヲ悉クユ、ニ注ギ。晨起ヨリ夜卧ニ至ルマデ。絶テ他念
アルベカラズ。コレ繪畫ノミニアラス。他ノ藝業ニ於テモ
亦然リ。又一藝ニ卓絶セント志スモノハ。學ヲ欲スル時
ト。欲セザル時トヲ論ゼズ。朝ニ晝ニ夜ニ常ニ工夫ヲ用、ベ
シ。遊戯セズシテ偏ニ辛苦學習スベシトイヘリ。蓋シオハ
天ヨリ受レドモコレヲ成全スルハ。自脩ノ功ニ由ルナレ
バ。天才ヲ恃マズシテ人カヲ盡スベキナリ。

(二) 藝ヲ好モノハ利ノ爲ニスルニ非ズ
人ノ卓絶ノ名ヲ成ハ。偶然天幸ニ非ズシテ。專一勉強ナル
ニ由ナリ。或ハ藝業ニ由テ財貨ヲ得ルト雖。元來財貨ヲ
得ント志シテ。藝業ヲ學ブニハ非ズ。抑モ清約廉儉ニシテ
心ヲ用ヒ精ヲ勞スル。豈ニ金錢ヲ欲スルヒハ。能ク堪

Michael Angelo.

ルトヨロナランヤ。コレタゞソノ業ヲ修ル中ニ滋味アリ。
悦樂アルニ由テ。コレヲ好テ。自ラソノ心ニ慊シ足リトス
ルナリ。シカレバ。悦樂ハ勉強ニ因テ得ルトコロハ。最善ハ
賞典ナリ。コレニ從フトコロノ財貨ハ。特ニ偶然ノ物ニ過
ザルノミサレバ。或人彌開爾。安日洛ニ向テ。一ノ畫工。利ヲ
求ル爲ニ。畫ヲ辛苦スルヲ語ケレバ。安日洛コタヘテ。予
思フニ。カクノ如ク。熱心ニ富ヲ欲スルモノハ。ソノ心ニ足
リトセザル中ハ。貧人タルヲ免カレズト言ヒシトナリ。
(三) 安日洛清廉淡薄ニシテ。雕像學ヲ勉ムル事
安日洛ハ。禮諾爾圖ニ似テ。マタ勉強ノ重ズベキヲ信ス
ル人ナリ。フノ言ニ。何ナル物ニテモ。手善ク心ニ應ズルト
キハ。大理石ニ模出し。一體ノ如ク。ニナラシムルヲ得ベシ

ト云リ。ソノ人ト爲リ。清廉ニシテ。自奉マル。儉素ナリ。故
 ニツノ言ニ。予ガ同時ノ人ヨリ。多光陰ヲ覓メ出シ。多學習
 スルコトヲ得ルハ。儉省ニ慣フニ賴リト云リ。サレバ。ソノ事
 業ヲ作シ。ナガラニ。少許ノ麵色ヲ喫シ。少許ノ酒ヲ飲ルハ。
 中夜睡醒レバ。急ニ起テ蠟燭ヲ頭帽ニ附着シ。ソノ光ニ
 由リ。鑿ヲ以テ勞作ス。時トシテハ。甚タ疲レ。衣ヲ脱スルニ
 及ハズシテ。ソノマ。倒レ卧シ。覺バ。マタソノ業ヲ做セシ
 トナリ。安日浴好テ刻ムトコロノ創意ノ像アリ。老人小車
 ニ乘リ。沙漏ヲ持チ。其上ニ予ナホ方ニ學習ニ從事スト云
 ル語ヲ銘スルモノナリ。コレ等ニテモ。ソノ平生志ノ存ス
 ルトコロヲ觀ルベシ。

④ 秩襄一畫ニ七八年ヲ費ス事

* Titian

秩襄ハ。以太利有名ノ画家。マタ強勉ニシテ倦ザル人ナリ。
 ソノ世ニ著稱セラル。ピートロマルチレノ画ハ。八年ニシテ
 成リ。ラストサッパ。救主最後ノ画ハ。七年ニシテ成ルモノナ
 リ。日耳曼帝查爾斯五世ニ書ヲ贈リテ。我今陛下ニラスト
 サッパ。アノ圖ヲ送ル。實ニ七年ノ間。毎日工夫ヲ用タルモノ
 ナリト云リ。名手ト稱セラル。人ハ。多少ノ勉力ヲ積ミ。多
 年ノ恒久ニ耐テ。大題ノ画乃チ作り難キノ画ヲ作ルニ由
 テ。ソノ心手マス。慣熟シテ。後來易ク覺ヘ。速ニ成トヲ得
 ルナリ。然レ。他人ハ。タツノ後來画ヲ作。易シテ速ナル
 ヲ見テ。ソノ從前ノ難シテ且久ク忍ル境界アリシトヲ思
 モノハ。少シサレバ。勿擲茶ノ爵士。嘗テ秩襄ニ一ノ半身像
 ヲ画カン。トヲ需メシガ。十日ニシテ成リ。幾許ノ金ヲ報シ

Callcott.

ヤト問ケレバ五十セクインス凡ノ我邦ノト答フワヅカ十日
 ノ工夫ヲ費スノミニテ求ルトコ口甚ダ多シト言バ安日洛
 我が十日ニシテ半身像ヲ画クヨハ三十年ノ間學テシカ
 ル後得タルモノナリト答シトナリ加兒格的ハツノ有名
 ノロケスター地名ノ画ヲ作ル前ニ四十度画稿ヲ改シトナリ
 加兒格的ハ英國ノ古勞徳法國有名ト稱セラレホド丹
 青一時ニ妙ナリ今女王維多利亞賞スルニ奈的ノ爵ヲ以
 テセリ

(五)少年ノ聲譽ハ恃ニ足ラズ
 藝業ヲ修ル人ハタトヒ天才衆ニ超エト雖モ繼續シテ勉
 強スルニ非レハ成就スル地位ニ至ルコト能ハズ是故ニ工
 藝ノ人少年ノ時聲名ヲ得ルト雖モ勉強ノ功ヲ以テコレ

Banks.

ニ繼ガシテ後來ツノ名ヲ失モノ少カラズ物斯的ノ事ヲ
 引テコレヲ證スベシ物斯的僅ニ七歳ノ時ツノ姉ノ小兒
 搖籃ノ中ニ眺ル顔容ノ愛スベキヲ見テ急ニ走テ紙ヲ求
 メ赤黒ノ墨ヲ以テコレヲ画キタリコレヨリ画ヲ作リ
 好ミ夙ニ聲譽ヲ一時ニ得タリ惜カナ天才卓絶スルノミ
 ニシテ學習ヲ積ズ艱難ニ勝タズ試験ヲ經ザルガ故ニ永ク
 ツノ聲譽ヲ保コト能ハズシテ遂ニ大家ト爲コト得ザリキ

(六)伴克斯小童ヲ勸勵セシ事
 雕像工伴克斯ハツノ記號ニ勉強及ヒ忍耐ノ字ヲ用シガ
 實ニ自ラコレヲ行ヒ又コレヲ人ニ勸タリ少年ノ此技ヲ
 好モノ來テ教誨ヲ求ルモノアレバ懇切ニコレヲ待遇セ
 リ嘗テ一小童ツノ家ニ來リ戸ヲ遠シク敲ケリ伴克斯ノ

*Claude Lorraine.

婢女怒リテコレヲ呵叱シ。遂ヒ還サントスルヲ伴克斯打
聽シテ自ラ出テコレヲ見レバ。一小童手ニ画圖ヲ持シテ
立テリ。伴克斯何等ノ事ノ爲ニ予家ニ來ルヤト問ハ答テ
曰。予願ハ君ノ周旋ニ由テゼ。アカデミー學藝ノ大館ニ入りテ。画圖
ヲ學バント欲スト。伴克斯マヅソノ画ヲ見セラレヨトテ。
コレヲ觀サテ云ケルハ。汝年幼シ。アカデミーニ往テ急ガ
ル。一ナカレ。歸ツテアポルロ神像ノ名ヲ今一段善ク画クヲ試
ミヨ。一月ノ後マタ來テ予ニ示セト。コノ童子大ニ勉強シ
テ一月ノ後画ヲ持シテ來ルニ。前ヨリハ善リケレバ。伴克
斯マスコレヲ勸勵シテ歸ラシメタリ。一七日後マタ來
テ画ヲ示スニ。更ニ進歩ノ功見エケレバ。伴克斯汝悦バレ
ヨ。後來大名ヲ成シ。心セリト許シケルガ。果テソノ言龜兆

ノ中ルガ如ク。コノ童子ハ。即今世有名ノ画家麥爾列第ナ
リケリ。
⑦古勞德羅倫ロレン萬象ヲ以テ師トナセシ事
古勞德羅倫ハ。勉強ニシテ倦ナキニ由テ。山水遠景ヲ画
キ大名ヲ顯ハセル人ナリ。法國羅倫ニ住スル貧家ノ子ニ
シテ。始ハ作餅匠ノ徒弟トナリシガ。後ソノ兄雕木工ナル
ガ故ニソノ業ヲ學ケリ。一ノ賈客客以太利ニ往ト欲スルモ
ノ。古勞德ノ画ヲ好ヲ知リ。勢勢往往ト勸ケレバ。コレニ從ヒ。
羅馬ニ至リ。遂ニ有名ナル画工亞哥士知諾答西ノ僕トナ
リテ。画ヲ學ビ。次第ニ長進ス。後以太利法蘭西日耳曼ニ歷
遊シ。時ニ處々ニ留リ。画ヲ作りテ。路銀ヲ得タリ。羅馬ニ歸
ルニ及テ。聲名藉藉ト甚ク。四方ヨリ來テ画ヲ請モノ常ニ已

古勞德ハ森羅萬象ヲ以テ師トナシ、勉テソノ真形ヲ寫シテ疲ルコナシ、故ニ平日ノ習トシテ、房屋田土樹木花葉ノ類ヲ精密ニ描寫シ、多ク光陰ヲ費セリ。時トシテハ曉ヨリ夜ニ及マデ、蒼天ヲ仰望シ、行雲變幻ノ狀態、天色明暗ノ増減ヲ熟觀セリ。カクノ如ク常ニ工夫ヲ盡シタレバ、ソノ成就スルヲ遲カリレガ、後ニ及テ、ソノ眼目ノ高キ、手藝ノ絶タルヲ、山水画工ノ第一流ト、世ニ稱許セララル、ニ至レリ。

八 篤兒涅爾薄值ノ画ヲ輕ンゼザル事
 篤兒涅爾マタ山水遠景ヲ画ガク名工ニシテ、英國ノ古勞德ト稱セララル、人ナリシガ、勉強勞苦シテソノ藝ヲ修ケリ、ソノ父ハ倫敦ノ剃頭工ナリシ故、童子ノ時、ソノ業ヲ爲

ケリ。日過客アリテ、ソノ摸寫スル画ヲ見テ、大ニ感シ、ソノ父ニ勸テ、ソノ好ニ從ヒ、画ヲ學シム。篤氏貧困ノ中ニアリテ、許多ノ艱難ニ逢タレモ、コレガ爲ニ屈沮セズシテ、恒ニ工夫ヲ画圖ニ用ヒ、卑下ノ事ヲ嫌ズ、心ヲ盡テ、コレヲ爲リ、サレバ喜ンデ、他人ニ傭レ、他人ノ画上ニ、インヂアインキヲ以テ、天色ヲ繪キ、一夜半ク、銀錢ヲ得、及ビ晚餐ヲ供セラル。カクシテ活計ヲ爲ナガラ、ソノ藝ニ慣熟スルヲ求メ、又道中記、年曆及ビ廉價ノ書ノ圖画ヲ作り、ソノ後篤氏自ラ我昔低價ノ画ヲ繪キ、十分ニカヲ盡セシガ、コノ事我ニ於テ最上ノ習練トナレリト云リ、篤氏酬報ノ薄モノト雖モ、決シテ筆ニ任セテ塗抹セズ、必ズ心ヲ用テ、ソノ能スルトコロヲ盡ス、一画タリトモ、後日ノ作ハ、必ズ前日ノ作

*Perrier

ヨリ進境アラシメンコトヲ期セリ。蓋シ人カクノ如クナレバ、ソノ爲トコロ必ズ多ク、多クレバ必ズ熟ス。故ニ篤氏ノ進境、旭日ノ光ノ如ク、画才益々生ジ、画境日ニ廣ク、遂ニ名工トナルニ至リ。篤氏ノ画、必シモ稱譽ヲ要セズ。ソノ英國ニ遺トコロノ集画閣、即チ篤氏ノモニュメント紀功ニシテ、永ク大名ヲ後世ニ傳タリ。

九百爾理爾九百爾理爾者ノ相ト爲テ、羅馬ニ遊ブ羅馬ニ遊ブ。羅馬ハ技藝ノ淵藪ナレバ、藝學諸生コトニ遊ブコトヲ企慕セザルモノナシ。但ソノ旅程ノ費用少カラズ、學生ハ多ク貧モノナルガ故ニ、ソノ志ヲ遂ルモノ少シ。然ドモ志望深カラバ、遂ニハ羅馬ニ至ルコトヲ得ベキナリ。法國ノ画工百爾理爾百爾理爾コノエテルタル。シテイ羅馬ヲニ遊ント。熱心ニ思シガ。後

*Callot

ニ替者ノ羅馬ニ遊ント欲スルモノ、相者ト爲コトヲ得テ、ソノ宿志ヲ達シ、コトニテ學習ノ功ヲ積ミ、遂ニ盛名ヲ發スルニ至リ。

十加洛ノ事加洛ノ事

法國ノ画工雕像工加洛加洛童子ノ時、羅馬ニ往ト欲セシガ、其父コレヲ許サズリシ故、竊ニ家ヲ出テ、以太利ニ赴ケリ。固ヨリ路銀ヲ持マシテ出シ、コトナレバ、忽チ大ニ困難シ。ツヒニシシ巧シテ廻廻ノ夥伴ニ入り、種々ノ危険ヲ冒シ、僅ニ福楞察福楞察又達シケリ。ソノ間目ニ見、心ニ貯タル詭形殊狀ノモノヲ、後來驚ヅベキ雕刻ニ發出セリ。羅馬ニ在テホリチ及ビトマストマスニ親熟シ。後來名工タルベシト。二人ニ許サル。一日加洛父ノ執ニ撞着シ、逼テ家ニ歸ラシメラル。加洛ナホモ安

ジテ家ニ居リ能ス。再々逃レ出シガ。株林ニ於テ其兄ニ捉
 ラル。後ニソノ父禁止スルトノ益ナキヲ知リテ許シテ羅馬
 ニ遊バシム。ユンニ於テ加洛數年ノ間羅馬ニ留リ良師ニ
 就テ画及ビ雕像ヲ學ビ。法國ニ歸ラントスル路ニシテ福楞
 察ノ鉅商コスモ第二ニ勸ラレ留學シテ數年ヲ過ス。コスモ
 死シケレバソノ郷土ナル南西ニ歸リソノ藝業ニ由テ聲
 名ヲ得貨財ヲ得タリ。幾何モナク法國内亂作り南西圍レ
 災禍ヲ受ク。利式流加洛ニコノ戰爭ノ圖ヲ彫ルヲ望ケレ
 疋。加洛ソノ郷里ノ災ヲ表揚スルヲ欲セザル故コレヲ
 辭シケレバ。利式流怒リテコレヲ獄ニ投ゼリシカルニ昔時
 羅馬ニ往ク途中惠ヲ受タルダブレイス注上ニ一班。マタ獄
 中ニ在ケリ。サテ路易第十三世加洛ノ拘繫セラハルヲ聞

*Nicolas Poussin.

テコレヲ赦セルノミナラス。何ナリトモ求トコロヲ許ス
 ベント云リ。加洛因テソノ舊友ナリシダブレイス一班ヲ獄ヨ
 リ出シ。巴理ニ在テ隨意ニ乞巧スルヲ許シ。ハハハ請ケ
 レバ。王立ニソノ奇異ナル請ヲ聽レ。シカラバソノダブレイス
 ノ形ヲ刻メト命ゼラル。コレニ因テ加洛ソノ著セル雕像
 ノ書ヲビベッガース乞巧人ト名ケタリ。路易モシ巴理ニ留ラバ
 毎年三千リル即フランク銀ヲ與ベシトイハレシガ。加洛コレ
 ヲ受メシテ南西ニ歸リソノ業ヲ務メテ死ニ至リ。加洛一生
 ノ間。整刀ヲ以テ雕刻スルモノ。及ビ鋼針ヲ以テ銅板ニ鑄
 ルモノ。一千六百ノ大數ニ至ル。ソノ勤勉ナルヲコレニテ
 想像スベシ。

(十一) 尼格拉士保申ノ事

法國有名ノ画家^コ格^ラ士^ス保^ウ申^シハ純朴ニシテ才思アリ品
 行正直ナリシ人ナリ其父ハ安^ア埜^エ禮^レニ住スル童子師ナレ
 バ保申ヲ家ニ於テ教タリシカ保申其課業ノ書或ハ石盤
 ニ画圖ヲノミ寫シテソノ正課ヲ怠リケリ其村ニ一ノ画
 エアリ一日保申ノ画ヲ見テコレヲ喜ビソノ好ヲ奪フト
 ナカレト父ニ勸ケレバコレヨリ保申コノ画工ニ就テ學
 ビ幾何モナクソノ業大ニ進ミ其師モコレヲ教ル能ハ
 ザルニ至リ保申更ニソノ技ヲ善セント欲シ十八歳ノ時
 巴^バ理^リニ赴ク途中ニテ表^カ號^レノ繪ヲ画キ金錢ヲ得テ路資ト
 ナス既ニシテ巴理ニ達シケレバ保申藝術ノ新世界已ノ
 前ニ開クタルニ且ハ驚キ且ハ勸勵シコレト勝ヲ争ント
 欲シ處々ノ工舖ニ往キ畫圖ヲ寫シ或ハ彩色ヲ施シ勤勉

ノ功ヲ積タリ或時羅馬ニ遊ントテ發程セシガ福^フ榜^{ホウ}察^{サツ}ニ
 至ルノミニテ歸ル其後再ビ發程セシ時ハ立^リ翁^ウ士^スヨリ不
 幸ニシテ巴理ニ歸リカクノ如ク沈^シ埋^ミ勞^{ロウ}苦^ク敗^ク績^{セキ}失^シ望^シノ遭
 際凡ソ十二年ヲ歷テ遂ニ羅馬ニ至ルヲ得タリ○羅馬
 ニ於テ諸ノ老画師ニ就テ學就中古昔名工ノ作ル像ヨリ
 多ク益ヲ得タリ嘗テ雕像工ダクエソイト居ヲ同シ古像ヲ
 模^モ作^サスル輔^ボ手^テトナリコレニヨリテ畫格一變ス又解剖ヲ
 學ビ又人民百般ノ儀容姿態ヲ熟察シコレヲ描寫シ粉^コ本^{ホン}
 ヲ蓄ルヲ務メ又其暇ニハ朋友ヨリ画法ノ書ヲ借讀セ
 リ○コノ時保申甚タ貧カリシカバソノ画ヲ賤ク賣リ先
 知者ノ一人ノ画像ヲ八フランクニテプレーグノ画ヲカルヂナル
 ノ画ヲ六十フランクニテ賣リ後ユノプレーグノ画ヲカルヂナル

法官利式流一千フランクニテ買シトナリ。保申マタ劇疾ニ
 肩レ一友ヨリ厚ク賑給ヲ受シカバ。後一ノ名画ヲ作リ。ユ
 レニ酬ユ。ツノ画ノ價病中受ルトコロノ金ヨリ倍蕪セル
 モノナリトグ。○保申マタ福楞察及ビ未尼斯ニ遊ビ。ツノ
 画學ヲ廣メタレバ。ツノ画マス。妙絶ヲ極メ。聲名四方ニ
 聞ユ。然ドモ保申ハ静退ヲ嗜ミ。交際ヲ好ズ。時ニ野外ニ閑
 歩シテ作ルベキ画ノ趣向ヲ思ヘリ。羅馬ノ地喧囂ナラザ
 ル。ツノ性ニ適シタレバ。ユニ於テ妻ヲ娶リ。終爲ノ志
 ヲ抱ケリ。既ニシテ保申屢々法國ヨリ王ノ画匠ノ長ニ爲
 スベシトテ招ル。始ハコレヲ辭セシガ。後ツヒニ巴理ニ歸
 リ。ツノ名画ト稱セラレタル襍未耶ノ像。バプチスハノ圖。ラスト
 サッパノ圖ハ。ユノ時ニ作り。巴理ノ画匠保申ヲ妬ミ。起テユ

John Flaxman.

レニ敵スルモノアリケルヲ厭シキ。二年ニ滿ズ
 シテ。羅馬ニ歸ル。其後疾病ニ惱レシガ。画學ノ益巧妙ニ至
 ン。ツヲ務メ。コレヲ以テ痛苦ヲ忘レ。心思ヲ慰ケリ。保申自
 ラ。余年愈老ルニ隨ヒ。極善極妙ノ域ニ至。ト欲スルハ念
 愈燃ルガ如クナル。ト覺ユト云ケリ。保申子ナシ。其妻ユ
 レニ先テ死ス。朋友マタ凋落シ盡テ。子然一身トナリ。一千
 六百六十五年。寛文養老ノ資トシテ。存貯セル一千クラウン
 銀錢ヲ。ツノ故郷ノ親家ニ遺シ與ヘ。許多ノ好画ヲ。世上ニ
 存留シテ。ツノ天年ヲ没タリ。

① 戎弗拉吉士面ノ事

英國有名ノ雕像工戎弗拉吉士面ハ。倫敦ユウヰントガーデンニ住
 スル白土ノ像ヲ賣ルモノ。子ナリ。小兒ノ時。痿弱ニシテ行

歩スルヲ能ス。故ニ常ノ習トシテ。枕ニ倚リ。店面賑櫃ノ後
 在リテ。圖ヲ画ガキ書ヲ讀ケリ。牧師ノ法教馬寶士ハ仁心
 アル人ナリシガ。一日ユノ舗ニ來リ。小兒ノ書ヲ讀ヲ見テ。
 何ノ書ゾト問ケレバ。ユル子リウス。子ボスニシテ。ソノ父擺書舗
 ニ於テ。少許ノ遠士ノ銅錢ニテ得タルモノト答フ。馬寶士ユ
 ノ書ハ汝ノ讀ニ宜モノニ非ズ。我他ノ書ヲ持來ベシト云
 テ。明日英譯訶墨爾ノ詩及ドンクイキツトヲ以テ與ケレバ。小
 兒大ニ喜ビ熱心ニユレヲ讀ミ。忽チ古詩中ニアル英雄ノ
 像ヲ模造セント思ヒ起セリ。
 始テ作ル諸ノ圖ハ生粗ナリシガ。其父ユレヲ有名ノ雕
 像工路被畧ニ示シケルニシヨ。發聲ノ語ト云テ輕賤セラ
 ル。然レユノ小童勉強忍耐ナリケレバ。次第ニ進ミ。白土ヲ

以テ像形ヲ造リ。始タリ。此時作リシモノ今日ニ至マテ世
 ニ奇珍トセラル。コレソノ工善ナルニ由ニ非ズ。痿弱ノ小
 童ニテ能レヲ作レバナリ。カクノ如ク工藝ヲ勉タル
 一。其身體ノ補益トナリ。漸ク杖ニ倚テ。行歩スルヲ得。後
 ニハ強健ニシテ杖ヲ用ザルニ至リ。馬寶士其後弗氏ヲ家
 ニ招キ其妻ヲシテ。訶墨爾及彌爾敦ノ詩ヲ解説セシメ。又
 コレニ拉丁語希臘語ヲ教タリ。弗氏勉強ノ功ニ由テソノ
 藝事大ニ進ケレバ。一夫人ヨリ始テ訶墨爾ノ詩意ノ圖像
 ヲ作ラントヲ托セラル。凡ソ始テ托セラルモノヲ作リ。工藝
 ノ人ニ於テソノ關係ノ大ナルヲ。何バカリゾヤ。外科醫ノ
 始テ病人ヲ托セラル。一。狀師ノ始テ訟事ヲ托セラル。
 一。立法者ノ始テ公會ニ於テ論辯スル。一。唱歌者ノ始テ場

ニ登ル。著書家ノ始テ書ヲ公ニスル。何モ聲名ニ關係スル。一生ノ大事ナリ。サレバ。コノ童子カヲ極テコレヲ作りケレバ。大ニ賞譽セラレ。又厚酬報ヲ得タリ。弗拉吉士面十五歳ノ時。ロヤルアカデメイ^{オホヤケ} 藝術ノニ入り。生徒トナル。弗氏天性謙退ナリシガ。諸生ノ中ニアリテ。嶄然トシテ頭角ヲ露シ。老師皆ソノ大成ヲ期ス。十五歳ニシテ銀ノ匾圓ヲ賞賜セラル。ソノ次年金ノ匾圓ヲ得ベキモノハ必ズ弗氏ナラント衆人ニ言レシガ。中ラズシテ。他人ノ生徒コレヲ得タリ。凡少年ノ功名ヲ躡ハ。却テソノ進益ト爲。ナリ。何トナレバ。堅志ノ人ハ。敗績ニ由テ志氣ヲ失ヌ。ソノ度ゴトニ。眞實ノ勢力ヲ引起。ナリ。弗氏ソノ父ニ向ヒ。待玉ヘ。予必ズアカデメイノ光榮トナルベキホドノ像ヲ作り出

ベシト言リ。コレヨリ一倍ノ工夫ヲ下シ。辛苦ヲ惜ス。思ヲ屬シ。稿ヲ作り。著實ニ勉強ノ功ヲ積メリ。然ニコノ時。其父白土ノ像ヲ作ル工業。一家ヲ養ニ足ザリクレバ。弗氏モト我慢ノ心ナク。自私スルノ意ナキ人ナル故。ソノ雕像ヲ學ブ。光陰ヲ減シテ。其父ノ賤業ヲ助ケ。訶墨爾ヲ抛テ。白土。鋤ヲ持シ。産業ヲ營ミケリ。然ニコノ事。弗氏ノ雕學ヲ爲ル妨トハナラズシテ。却テソノ益トナレリ。蓋コノ事。弗氏ヲシテ。勞苦ノ業ニ習ヒ。忍耐ノ精神ヲ長ゼシメ。又ソノ身體ヲシテ堅實強壯ナラシメタリ。弗拉吉士面ノ圖稿ニ巧ナル。空地烏德ニ聞ケレバ。空氏コノ少年ヲ用テ。陶器ノ圖形ノ粉本ヲ作シ。メンヲ望リ。ソレ弗氏ノ如キ名工カ。ル賤トヲ爲ハ。惜ベシト云人モ

アルベケレ^ル。決シテ然^ラ。尋常ノ茶壺水瓶等ノ圖稿コ^ツ。
 巧妙ノ工人ノ作ルベキモノナレ。何^カニトナレバ。人生毎日
 飲食ノ間。目ニ觸ル^ル器物ハ。萬民ノ教トナルベキ。目的ト
 シテ造ル^ルヲ要ス。蓋シ人常ニ工妙ノ画ヲ觀ルトキハ。眼目
 自ラ高クナルノ益アリ。是故ニ畫工ノ志氣高モ^キハ。富人
 ノ爲ニ數千金ノ画ヲ作^ラ。ガリハ。寧國人ノ公利トナラン
 ガ爲ニカ^ク惜^ス。シテ日用器皿ノ画稿ヲ造リコレ他ナシ。
 千金ノ画ハ。高堂華屋ノ中ニ幽閉セラレ。衆人ノ觀覽ノ及
 ブ^ル能^ハザルトコロナレバナリ。空地烏德ノ時マデハ。陶器
 粗醜ニシテ。クノ畫圖マタ拙惡ナリ。故^ニ空氏ハ二ナガラ
 コレヲ精巧ニ爲^スベキコヲ求メタリ。空氏往古ノ希臘^{キリシヤ}奚土
 拉斯干^{ラスカ}其他美好ノ陶器ヲ集メ。又古詩古史ニ存スル^ル樣形

ヲ查出^シ。弗氏ヲシテコレヲ師法トナサシメクレバ。弗氏
 勉強シテコレニ倣^ヒ。又加^ルニ新意ヲ以^テ。クノ圖形ヲシ
 テ日ニ益^シ。精善ナラシメタリ。後來弗氏コノ時ノ事ヲ言
 テ。予少時陶器ヲ画ガキシニ由^リテ。美巧ノ物ヲ愛スルノ心
 ヲ養^フコヲ得タリ。マタ廣ク人民ヲシテ。クノ眼目ヲ高^クシ。圖
 画ノ趣味ヲ鮮^スルコヲ得セシメタリ。マタコレニ由^リテ。我
 囊橐空虚ニ至ラザルコヲ得。而^{シテ}又吾友空氏^{ウツキ}ヲシテ。クノ
 目的ヲ達セシメ。クノ工業ヲシテ繁盛ナラシムルコヲ得
 タリト云リ。
 弗拉吉士^{フラスカ}面二十七歳ニ及^テ。婦ヲ娶ル。クノ名ヲ安^{アン}田^{デン}曼^{マン}
 イフ温和端正ニシテ。詩画ノ趣ヲ解セルモノニテ。深ク弗
 氏ノ才ヲ愛セリ。弗氏新婚ノ後藝術學院ノ監督ナル^ル禮諾

爾圖ニ路ニ逢リ。禮氏ハ有名ノ画家ニテ婦ヲ娶ザル人ナリ。禮氏弗氏ニ謂テ曰、足下婦ヲ娶シト聞リ、果テ爾ラハ足下ノ藝ハコレガ爲ニ敗レタリト言フ。弗氏速ニ家ニ歸リ、其妻ノ側ニ坐シ、其手ヲ執リテ、安我、藝事ハ敗レタリト云ハ、安即チ戒フハ何事ノ起リタルヤ、誰ガコレヲ敗リシヤト怪ニ問フ。弗氏コレ寺院ニ於テ起リ、安田曼吾、藝事ヲ敗リタリトイヒテ、具ニ禮諾爾圖ノ持論ヲ語リ、且曰ク、學生工藝ヲ修メ、絶妙ノ地ニ至ラント欲セバ、全體ノ心カヲ出シ、藝事ヲ擔負ス。曉起ヨリ夜眠ニ至マデ、一刻ノ間斷ナカ、ルバシ、且羅馬ニ遊ビ、拉輝列及ビ彌開爾、安日洛ノ名作ヲ學ザレバ、雕工ノ大人ト成ルコト能スト語リ畢テ、自ラツハ短小ハ身ヲ聳起シテ、我雕工ハ大人トナラント欲スト云

バ。安答テ君ハ實ニ雕工ノ大人トナリ玉フベシ。君ノ藝業ヲシテ大ナラシムルタメナラバ、羅馬ニ遊ビ玉ヘトイフ。弗氏然ラバ何ニシテコレヲ爲シ得ンヤト云フ。安曰ク、藝業ヲ勉メ、儉約ヲ務テ、コノ願ヲ遂玉ヘ。安田曼ガ弗拉吉士面ノ藝事ヲ敗タリト、人ニ曰、レシハ予ニ於テ口惜キコナリト。答フ弗氏シカラバ、我行資備辦セバ、羅馬ニ向テ發程シ、禮諾爾圖ヲシテ、結親ノ事ハ、人ノ害トナラズシテ、却テ人ノ吉利トナルコトヲ知シムベシ。汝安我ト偕ニ遊ベシト言ヘリ。

コノ後五年ノ間、夫婦コノ目的ヲ達センガ爲ニ、一錢ト雖モ空ク費スコトナク、マタ他人并ニアガデ、イヨリ救助ヲ受ルコトナクシテ、旅資ヲ貯ヘ、遂ニ兩人ニテ羅馬ニ赴キ、心カラ

盡シテ。雕像ヲ學ビ。古像ニ倣ヒ。式様ヲ作リ。テ過活ヲ爲リ。英國ノ人。ソノ工舗ニ來リ。古像ノ式ヲ模スル。トテ托スルモ。少ナカラズ。コノ時。訶墨爾。以斯吉。拉斯。檀。的。ノ形像ヲ美麗ニ造リ。ガ。僅ニ十五。シル。リ。ン。グ。ニ。テ。一。箇。ヲ。賣。リ。又。托。馬。士。荷。布。ノ。爲。ニ。キ。ユ。レ。ビ。ド。フ。ー。ロ。ラ。ノ。像。ヲ。作。リ。伯。律。士。上。爾。ノ。公。ノ。爲。ニ。亞。答。瑪。斯。ノ。像。ヲ。作。リ。弗。拉。吉。士。面。大。名。ヲ。荷。テ。倫。敦。ニ。歸。リ。ケ。レ。バ。雕。像。ヲ。托。セ。ラ。ル。一。益。多。シ。ソ。レ。ガ。中。ニ。モ。勞。爾。德。曼。士。非。爾。德。ノ。記。念。碑。ノ。像。ウ。エ。ス。ト。ミ。ン。ス。タ。ー。寺。院。ノ。北。角。ニ。建。ル。モ。ノ。尤。モ。名。作。ト。稱。ス。即。チ。弗。氏。ノ。工。カ。ヲ。顯。ス。記。念。碑。ト。云。モ。可。ナ。リ。ロ。ヤ。ル。ア。カ。デ。ミ。ー。大。學。院。會。社。ノ。人。弗。氏。ノ。歸。ヲ。聞。キ。又。ワ。ン。ス。フ。ー。ル。ド。ノ。像。ヲ。觀。テ。コ。レ。ヲ。フ。ノ。會。社。ノ。籍。ニ。入。シ。ガ。幾。何。モ。ナ。ク。ロ。ヤ。ル。ア。カ。デ。ミ。ー。

*David Willkie.

ノ。雕。像。ノ。學。師。ニ。任。ゼ。ラ。レ。タ。リ。抑。モ。白。土。像。ヲ。造。ル。小。兒。偏。ニ。自。己。ノ。カ。ニ。倚。仗。シ。無。數。ノ。難。事。ニ。勝。得。テ。遂。ニ。カ。ル。崇。高。ノ。地。位。ニ。外。ル。コ。ト。豈。ニ。尊。バ。キ。事。ナ。ラ。ズ。ヤ。コ。ノ。後。弗。氏。多。年。平。穩。ニ。日。ヲ。送。ケ。ル。ガ。ソ。ノ。婦。安。死。シ。テ。ヨ。リ。大。ニ。身。體。ノ。和。ヲ。傷。リ。一。千。八。百。二。十。六。年。文。政。没。セ。リ。

(十三) 維爾啓談話ヲ好ザル事

蘇國有名ノ畫工大關。維爾啓ハ。忠厚ニシテ藝業ヲ勉ムル人ナリ。其父ハ牧師ノ法教官ナリシガ。維爾啓童子ノ時ヨリ。偏ニ画ヲ好ミ。面目形狀ヲ描寫シコレヲ以テ樂トナシテ其他ノ學問ヲ勉ガリケリ。ソノ人トナリ靜黙ニシテ談話ヲ好ス。故ニ神明外ニ馳ズシテ才思内ニ醞釀セリ。ソノ心時トシテ。處トシテ。画圖ニアラザルコトナシ。常ニ機會ヲ求テ。コ

レヲ作り、故ニ家中ノ墻壁、及水邊ノ平沙、山畔ノ滑石、皆ツ、
 ハ、紙布ナリ、眼前手ニ當ル物、皆ツ、ハ、画筆ナリ、凡ツ、ノ遇ト
 コロノモノ、襪褌ナル乞巧ト雖モ、畫料ナリ、他人ノ
 家ニ至ルトキハ、必ズ、ノ壁間ニ圖形ヲ殘ス、故ニ、コノ童子ノ
 過トコロノ痕跡ナリトテ、頗ル人ニ嫌ル、其父始、ハツ、ノ職
 ヲ繼シ、メント欲セシガ、ツ、ノ益ナキヲ知り、遂ニ画工トナ
 ラシムルヲ許セリ。
 既ニシテ維爾啓ハ、エダシ不ダノアカデミー大學院ノ弟子ノ負ニ
 補セラレント欲シ、ツ、ノ画ガケル圖ヲ出シケルガ、ツ、ノ生
 疎ナルヲ以テ、選ニ預ルヲ得ズ、コレニ由リ、テ、久ニ耐テ善
 画ヲ作り、遂ニアカデミーニ入ルヲ得タリ、維爾啓他ノ少年ノ
 驕傲ニシテ、オハ、ヲ恃ガ、如ハ、癖習アラズ、心ヲ專ニシテ、藝業

ヲ勉修セリ、ツ、ノ常ノ言ニ、予ノ画ニ於テ進境ヲ得タルハ、
 他ナシ、勉強シテ己ザルニ由リ、ト云リ、ツ、ノ聲名漸ク顯
 ル、ニ隨ヒ、画ヲ乞フモノ日ニ多カリシガ、舊ニ仍テ貧困ナ
 リ、其故ハ、酬値ノ薄モノト雖モ、草率ニ筆ヲ下ナシ、必ズ
 幾回トナク、圖稿ヲ改メ、苦心ヲ悉シ、時日ヲ費シテ、然後ニ
 手ヲ脱セリ、禮諾爾圖ト同ク、ツ、ノ表識ノ語ニウラルク、ウラ
 ルクウラルク、レインルケ勞作々々々々ト云ル語ヲ用タリ、又禮氏ト同
 ジク世ノ談話ヲ好ム、画工トナルマ、ト思リ、故ニツ、ノ言
 ニ談説スルモノ種ヲ播キ、静黙ナルモノ、ト莫實ヲ收ムト云
 ケリ、○維爾啓始テ、勞爾德曼士非爾德ヨリ、画ヲ托セラレ、
 三十金ヲ得タレバ、コレヲ以テ婦人ノ冠帽衣裳ヲ買テ、ツ
 ノ母トツ、ノ姉トニ獻ゼリ、蓋シ維爾啓早年ヨリ貧窮ニ長

* Martin

シテ、ソノ身ハ嚴ク儉約ヲ行、ドモマタ、カクノ如ク、ソノ所
生ト同胞トノ爲ニ、金ヲ散ジテ、慙ル色ナキハ、真ニ稱贊ス
ベキナリ。
④画工馬爾珍大画ヲ作ル時、屢餓死ニ迫事、
困窮ハ、工藝ヲ學ブ人ノ勇剛、忍耐ヲ試ルモノナリ。古ヨリ
極窮極困ニ逢ト、雖モコレガ爲ニ、退縮セズシテ、ソノ藝業
ヲ成就スルモノ多ク、コレアリ、然レモ困窮ノ爲ニ、艱難ヲ忍、
能クシテ、敗績沈没スルモノ、其數亦多カルベシ。画工馬爾
珍、遭際ノ如クハ、十分ノ勇剛、十分ノ忍耐ニアラザレバ、恐
ハ、消沮シテ、廢退スベキナリ。馬爾珍始テ、ソノ大画圖ヲ作
ケル時、餓死ニ迫リ、屢々ナリキ。或時數日食、ズシテ、飢ニ迫
ケレバ、囊中僅ニ一銀錢アリシヲ以テ、麵包ヲ買去ントセ

* James Sharples

シカバ、店主入忽チ批留テ、其麵包ヲ奪ヒ、錢ヲ擲還ス。抑モ
コノ銀錢ハ、ソノ光燦然タルカ故ニ、殘シ置タリシモノニ
テ、ソノ惡錢ナリトハ、毫モ知ラザリシナリ。悵然トシテ、寓舎
ニ歸リ、櫃ヲ傾ケ、辛シテ、ソノ麵屑ヲ集メ、僅ニソノ喉吻ヲ
濕セリ。然レモソノ後數日ヲ過テ、ソノ画圖成就シケレバ、ユ
ノ時ヨリシテ、聲名ヲ發シタリ。
⑤惹迷斯沙不爾士鑄鐵工ニテ、画工雕工ヲ兼ル事
沙不爾士ハ、一千八百二十五年、文政約克舍ニ生ル。鑄鐵匠
ノ子ナリ。後ニ拔禮ニ移リ、同胞十三人アリテ、一モ郷塾ノ
教ヲ受ルモノナシ。少ク長スルニ及デ、皆工事ヲ爲リ。沙氏
十歳ノ時ヨリ父ヲ助テ、勞作スル。屢常ニ曉六時ヨリ夜
八時ニ至リ、後ニ大釜ヲ鑄ル工匠ノ徒弟トナリ、ソノ家ニ

往テ服役スル時。工場ノ頭人。自ラツノ作ル釜ノ圖ヲ持シ。沙氏シヤルタレテ。作場ノ地板ニ。要用ノ廣ニ圖ヲ引シメシガ。漸々ニコノ事ニ習ヒ。頭人ノ爲ニ大ナル助トナル。家ニ歸リテ暇アル時ハ。地板ニ白灰ヲ以テ。釜ノ圖ヲ画ガケリ。一日クノ母一親家ノ婦。遠方ヨリ來訪スルモノヲ款接セントテ。客堂ヲ整頓シ置タリシガ。沙不爾士シヤル晩夕ニ鑄鐵場ヨリ歸リ。例ノ如クニ圖ヲ造ルヲ始タリ。カクトモ知ズシテ。ソノ母ツノ客ヲ延來リ。白灰地板ニ狼藉タルヲ見テ。大ニ驚駭ス。然ニツノ親家ノ婦。却テコレヲ賞賛シ沙氏ノ爲ニ紙筆ヲ與ヘ給ヘトツノ母ニ勸メタリ。沙不爾士シヤルコレヨリ山水遠景ヲ画ガクヲ學ビ始シガ。未ダ分間ヲ測ル法ヲ知ズ。又光ト影トノ理ヲ知ズト雖。凡次

第二画本ヲ寫ス。一ニ慣熟セリ。十六歳ノ時。拔禮ノ工學院ニ往キ。屢々他人ノ圖ヲ作ルヲ觀テ。進益ノ助トナス。剃頭工ニテ画ヲ好ム人。沙氏シヤルノ師トナリテコレヲ教フ。コノ師沙氏ニ勸テ培納ポナ的ノ画學書ヲ借讀セシム。然ニ沙氏未ダコレヲ容易ニ讀ク能ハザリシ故。ソノ母及ビ兄ニ請ヒコレヲ讀シメテ聽ケリ。沙氏自ラ讀ムアタハザルヲ痛ク。暫時ノ間。家ニ於テ。専心ニ書ヲ讀ミ。字ヲ作ルヲ習ヒ。ソノ後再ビ工學院ニ往キ。培納ポナ的ヲ借來リシニ。コノ回ハ獨リ讀得ルノミナラス。コレヲ抄寫シテ。後日ノ用ニ供スルヲ得タリ。サレバ曉四時ヨリ起テ。培納ポナ的ニ從事シ。六時ヨリ鑄鐵場ニ往キ。晩六時或ハ八時マテ勞作シ。歸レバ復精神ヲ振起シ且讀ミ且抄ス。或ハ名工ノ画ヲ寫シ。中夜ニ至ル。

レヲナルド。ダ。グインシ以大利有名ノ画工ラストサバ画ノヲ寫セシ時ノ
 如キハ終夜ヲ過ス蓋シ沙氏床ニ上レドモコノ画胸中ニ
 往來シテ眠ル能ハズ故ニマタ起テ筆ヲ把レリ。
 沙不爾士ソノ後油畫ヲ作ルヲ學バント欲シテカンパス
 画ニ用ヲ買ヒ画架ニ張り白鉛ヲ塗リテ始テ色料ヲ加ヘ
 シニ布粗ク彩色乾カズシテ全ク敗ヲ取リ因テコレヲ嘗
 テ師トシタル剃頭工ニ問ケレバ油畫ニ用ルカンパス画及
 ビ彩色漆ハ別ニソレガ爲ニ備タルモノヲ買フベシト云
 リ沙氏以上ノ諸品ヲ辛シテ買得テ画師ヨリ又コレヲ用
 テ画ガクノ方法ヲ教ラレ勉勵シテ已ザリケレバ幾何モ
 ナク剃頭工ノ寫セル画ニ愈ルニ至ルツノ始テ作ル画ハ
 羊毛ヲ剪ル圖ナリシガツノ後半クラウンノ價ニテ賣タリ

レトナリ沙氏鑄鐵場ニ於テ工事ヲ畢テ後毎ニ屢々晩暮
 ヨリ滿遮士打マデ往返十八里ノ路ヲ行キワヅカ二三時
 令バカリノカンパス及ビ色料ヲ買ヒ家ニ歸レバ中夜ニ及
 ベリ時トシテハ雨ニ濡ヒ大ニ困憊ス然ドモ名工トナラ
 ント欲スル志望深カリケレバカクノ如キ勞苦ヲ事トモ
 セズシテ一意ニ藝業ヲ修タリコレニ繼テ功カラ用シ
 ハ沙氏ノ余ニ寄タル書中ニ詳ナレバ次ニ之ヲ録出セリ
 予コノ次ニ月夜ノ遠景及菓實ノ画等ヲ作リシガツノ後鑄
 鐵場ノ圖ヲ作ラント思ヒ起セシカバ紙上ニ画稿ヲ造リテ
 コレヲカンパス画ニ画ガクヲ始タリツノ大段ヲ画ガキ
 シ後予思フニ解剖ノ學ヲ知ザレバ人ノ筋骨ヲ描寫スル
 能ハスト因テコレヲ學バント欲セシニ幸ニ吾同胞ビター

予ガ爲ニ弗拉吉士面ノアトミカルスターニス人體ノ畫學書ヲ買ヒタリ
 コノ時予ガ力ニテコノ書ヲ買フ能ハズ蓋シ二十四時令レリ
 ノ價ナリ予コノ書ヲ視ル寶庫ノ如ク勉強シテコレヲ
 學ビ曉三時ニ起テコレヲ模寫シ時トシテハ急ニ同胞ト
 タラ喚ビ起シ吾爲ニ立シメテコレヲ模形トナセリソノ
 後予マタ思フニハ予ペルスベクチャーヴ分間ヲ測リテ遠景及ビ
 ナリハス法ノ術ヲ知ザレバ鑄鐵場ノ分間ヲ切ニ画ガクノ能
 ハスト因テブルークタイロル人名ノプリンシアル書ヲ細心ニ學習シ
 然後ニ前功ヲ繼ギ再ビコノ圖ニ從事セリ予ペルスベクチャーヴ
 見上ニヲ學ブ時ニ當リ晝間鑄鐵場ニ於テ最モ重キ鐵ノ
 工事ヲ求テコレヲ操作セリコレ予ニ於テ別ニ道理アリ
 最モ重キ鐵ヲ炙熱スルハ最モ久キ時限ヲ要シ最モ輕キ鐵

ハ最モ短キ時限ヲ要スリレバ一日ノ間重鐵ヲ操作スレ
 バ熱度ニ至ルヲ等候スル時限多ク生スルナリコノ時限
 ヲ謹ミ用ヒテ火爐前ノ鐵板上ニペルスベクチャーヴノ分間圖ヲ
 畫シコレヲ學ビケリ
 上ニ云ル如ク苦志勉力シテ画圖ノ根理ヲ學ビタレバソ
 ノ後功夫ヲ用ルハ大ニ易キヲ覺タリ既ニシテ工場徒
 弟ノ限期盡タル後ソノ父ノ像ヲ画ガキ郷里ニ譽ヲ得鑄
 鐵場ノ圖モ成就シタリマタ工場ノ頭人ヨリソノ全家團
 樂ノ圖ヲ托ヒラル圖成リテ善リケレバ始メ約セシ價十
 八封度ノ外ニ三十時令ヲ増テ酬ラルコノ後專ラ圖畫ヲ
 以テ業ト做ント欲ヒシガコレノミニテハナホ閑隙アリ
 シカバマタ革裙ヲ垂テ打鐵匠ノ事ヲ爲シ正經ノ利ヲ賤

ケ得タリ。又ソノ餘暇ヲ用テ。自ラ鑄鐵場ノ圖ヲ。鋼板ニ雕刻シ。コレヲ世ニ公ニセリ。沙氏自ラソノ雕刻ヲ始メシヨリ成就ニ至ルマデノ事ヲ述ブルモノアリ。次ニ録出ス。予嘗テ偶々シエツフィールドノ鋼板匠ノ告示ヲ見タルニ。大小各版ノ價ヲ載タリ。ソノ中ヨリ吾ガ用ニト欲スルモノヲ定メ。ソノ價ヲ送り。又若干ノ金ヲ附送シ。コレヲ以テ雕刻ノ器具ヲ買シ。コトヲ望ミケリ。既ニシテソノ鋼板并ニ三四箇ノ小刀鋼針。至リケレバ。予因テ画ヲ刻スルコトヲ始ム。然ニコレヲ爲甚ダ難ク且遲カリシガ。後ニコレハ全ク器具ノ備ラザル故ニ由リ。ヲ經驗シテ知リ。因テ吾意ニ中ル器具ヲ造ルコトヲ試ミシガ。屢々失敗シタル後。器具ノ良モノヲ製シ出セリ。予素ヨリコノ事ヲ暇餘ニ爲コナレバ。繪画

ノ事忙ハシキ時ハ。久シキ間コレヲ廢セザルコトヲ得ズ。因テ鑄ノ生ビシコトヲ恐レ。コレヲ防ガンガ爲ニ。雕タルトコロニ常ニ油ヲ塗タリ。或時久廢ノ後。出シテ見ルニ。油粘塞シタレバ。針ヲ以テ試ミニコレヲ除クニ。新ニ雕刻スル如キ工夫ヲ費セリ。コトニ於テ悵然トシテ意ヲ失シガ。後ニ及デ。ソーダヲ入タル水ヲ煮テ。コレヲソノ中ニ入レ。齒刷ヲ以テコレヲ揩摩スレバ。油垢除去ベシト。幸ニ想中リテ。コノ難事ヲ脱シ過タリ。蓋シ予鋼板ニ画ヲ雕ルコトハ。始ヨリ終ニ至ルマデ他人ヨリ學バズ。他人ノ助ヲ假ラス。全ク吾ガ自己ノ堅志勉力ニ賴テ成就スルコトヲ得タレバ。コレ實ニ予ノ功勳ト云ベシ。

沙氏自ラ家中ノ情景ヲ述タル語アリ。曰ク。余婦ヲ娶リシ

以來、已ニ七年ヲ經タリ、毎日鑄鐵場ニ在リ、勞作ノ事ヲ竟
テ後、畫筆ヲ執リ、或ハ鋼刀ヲ持シ、徃々深更ニ至ルニ、吾妻
ハ吾、側ニ坐シテ、予ガ爲ニ有用ノ書ヲ讀ム。予コレヲ聞キ
ガ。ラニ。工。藝。ノ。事。ヲ。爲。フ。豈ニ快樂ノ最モ大ナルモノナラ
ズヤト。カクノ如キ誠朴ニシテ、レカモ美麗ナル實話ハ、尋
常ノ人モコレヲ聞テ感ズベク、工人ノ才智アリ、實心アル
人コレヲ聞バ、最モ肺腑ニ沁スベキナリ。沙氏ハ生存スレ
ナリ。四歳

⑥有名ノ樂師彌勉ニレテ倦ザル事

畫工、雕像工ノ絶妙ノ地位ニ達スルモノハ、上ニ顯ハセル
數人ノ如ク、專一ニ勉強學習スルニ、因レル事ナリ。コレニ
音樂ノ一藝アリ、画及ビ雕像ト、技藝ノ兄弟タリ。蓋シ彼ハ

形色ノ詩ニシテ、此ハ聲音ノ詩ナリ。コレヲ學デ、絶妙ニ臻
ル、亦專心勉力ヲ要ス。日耳曼ノ樂師罕埤爾ハ、彊忍ニシテ
倦ス。失敗ニ遇テモ、沮喪セズ、患難ノ至ルコトニ益々勢力
ヲ長スル人ナリ。嘗テ債ヲ負ヒ、償フコト能ハズシテ、家中ノ
物ヲ搶奪セラレシガ、罕埤爾コノ時、樂曲ヲ作ルコトヲ暫モ
廢セズ、一年ノ中ニ、幼妙ナル樂曲數種ヲ著ハセリ。ソノ傳
ヲ作ルモノ、言ニ罕埤爾ハ、何事ニテモ敢テ爲トコト
氣象アリ。一己ノ力ヲ以テ、十二人ノ事業ヲ成就シタリト
云リ。罕埤爾、一千七百五十九年、實曆九年、倫敦ニ在テ没ス
リ。以テ、一千八百五十九年、安政六年、罕埤爾及後、百年ニ在テ没ス
リ。以テ、罕埤爾ノ追憶ト、節宴ヲ設ケ、行ヒタリ。日耳曼
ノ樂工、海曇、自ラソノ技藝ノ事ヲ語テ、一事ヲ始テ、追逐繼
續スルニ由テ成就ストイヘリ。○日耳曼ノ樂師莫備托反

ノ格言ニ才能及ビ勉強ヲ貪リ求ルコトニヨリ遠クニ
 至^ルヲ許サズト志セル界石ハ立テアラストイヘリ。モスケ
 以^テ樂曲ノ草藁ヲ備托反ニ送^ルリ。ソノ是正ヲ請タルガ備氏
 抄本ノ尾ニ「上帝ノ助ヲ以テ功ヲ完セリト書シテアリシ
 ヲ見テマタソノ下ニ「嗚呼人汝自ヲ助^メト書ヒシトナリ。
 コノ一句ハ備氏平生用ルトコロノモト表識ナリ。戎設巴
 士^ト拔克^ト日國自^ラ自己ヲ評シテ予ハ勤勉ナリ。誰ニテモ
 勤勉^ナルモ人ハ予ガ如キノ成功アルベシトイヘリ。拔克
 樂^ヲ好^ム嗜慾^ノ如^シコレ實ニソノ勤勉ナル所以ノ源ニ
 成テソノ成就スル所以ノ祕事ト言ベシ。幼年ノ時夜ニ當
 リ蠟燭ヲ點スルコトヲ許リレザリシ故月光ニ映シテ音樂
 不書ヲ寫ヒシトナリ。ミエルベイルハ毎日十五時ノ間樂ヲ學

ビシト云傳フ。

斯邁爾斯自助論第六編終

斯邁爾斯自助論一名西國立志編

第七編 貴爵ノ家ヲ創タル人ヲ論ス

門的勞士ノ詩ニ曰事功ヲ敢テ擔任セザルモノハ凶

禍失敗ヲ恐ルノ念甚ダ多クシテ竟ニ大勲績ヲ奏

スルヲ能ハス聖路加曰彼スデニ権力アル人ヲシテ

ソノ席ヨリ下ラシメ又側陋ノ人ヲシテ崇高ノ位ニ

外ラシメタリ

①古者尊貴ノ族今ハ多ク平民ニ混スル事

凡ソ人ノ血統盡ク皆往古ヨリソノ源ヲ發出セシナリ或

ハソノ譜系傳ハラズ祖父ヨリ以前知ベカラスト雖モソ

ノ先ヲ追溯スレバ始祖亞當夏娃ヨリ流レ出ザルモノナ

シ蓋シモト人ニ定リタル貴賤尊卑ノ種別ナシ故ニ權勢

アル家時ニ衰微シ。卑賤ノ人時ニ顯達ス。新者ハ舊ニ代リ。故家ハ平民ノ中ニ埋沈ス。拔爾克ノ著ハセル。ウシスシテトリス。外ヲファミリス。門族ノヲ觀ルトキハ。人生盛衰ノ常ナラズ。外沈ノ時ナラザルニ感ズベク。又富貴ノ人ノ災禍ヲ受ル。貧賤ノ人ヨリ甚シキヲ知ベシ。昔シ英王約翰暴虐甚キニヨリテ。巴倫士八名貴爵二十五人相議シテ。英王ヲ限制スル法所謂馬格那查達ノ約法ヲ定メシ。後裔今貴爵ノ家ニ一人モ存スルモノナシ。蓋シ内亂相繼ギ。家皆亡滅シテ。衆庶ノ中ニ汨没セシナリ。サレバボハレス。邈的麥北藍太日奈ノ如キハ。古ヘ有名ノ貴族ナレドモ。今世卑賤ノ人ニテコレ等ノ姓ヲ蒙ムルモノアリ。コレソノ苗胤ナリ。英王義德瓦第六ノ子ナリシ根的亞爾支那ノ如シノ遠裔ニシテ。

今屠者トナルモノアリ。稅吏トナルモノアリ。西門モト斧福ノ遠裔ナリトテ。今トーレイ街ニ鞍匠トナルモノアリ。阿力弗格朗空ノ曾孫ハ。スノヒルニ住シテ雜貨ヲ賣リ。カクノ如キ類ソノ他枚舉ニ暇アラズ。人世榮貴利達ノ恃ニ足ザルコ、ニ於テ見ルベシ。

② 現存スル貴爵ノ家多ク商賈ヨリ起シ事

現今英國ニテ貴爵ノ家多ク有。ハ。中古以來商賈ノ險ヲ冒シ危ヲ凌キ。邦國ノ爲ニ貨財ヲ生ヌルモノニ賞典トシテ封スルニ貴爵ヲ以スルニ由リ。高奴ウアルリス尾律士亞爾ノ祖ハ。チーサイトノ商人ナリ。厄塞亞爾ハ。ソノ祖ヲ維廉加百爾ト曰テ。賣布商ナリ。古禮文亞爾ハ。ソノ祖ヲ維廉古禮文ト曰テ。裁縫匠ナリ。今ノ瓦威克亞爾ハ。キングメーカプノ後胤ニ非

スレテツノ祖ヲ維廉額列未列ト曰テ毛ヲ商シモノナリ。
 今ノ諾東北蘭去克支那ノ公ハ百爾西ノ宗派ニ非スレテ。
 休斯密士敦ト曰ル倫墩ノ賣藥商ヲツノ祖トナセリ。ダイト
 マウス氏。ラドノル氏。ダレト氏。ホムフレット氏。以上貴爵ノ家。ツノ先
 ハ皮工。製絹工。裁縫工。加勒斯ノ高ナリ。ダントケルグイ氏。ドルメル
 氏。コウエントレイ氏。以上貴爵ノ家ハソノ祖ハ皆賣綢緞商ナリ。
 ロム子一アイルランド亞爾勞爾德得立。勞爾德娃德先ハ打金匠。玉器
 エナリ。勞爾德デーカスノ祖ハ。查爾斯第一ノ時ノ銀舗ナリ。
 勞爾德ヲバアストウハ。今女王維多利亞ノ時ノ銀舗ナリ。李圖
 丟克註上ノ開祖ハ。義德瓦窩士畔ト曰テ。倫敦橋上ノ富
 饒ナル織布工黒空ウエット的ノ徒弟ナリシナリ。黒空ウエット的唯一女子
 アリンガ。一日過チテタイム爹迷士河ニ溺レシ時。窩士畔コレノ

Richard Foley.

見テ水中ニ跳リ入リ。ソノ命ヲ救ケルヨリ。遂ニ夫妻トナ
 レリ。○ソノ他貿易ノ事ヲ爲ニヨリテ。貴爵ノ家ヲ創シ者
 ハ。ヒツウセルム氏。レイ氏。ヒートル氏。カウヘル氏。ダーンレイ氏。ヒル氏。加林敦氏。
 ノ如キ是ナリ。福禮氏。諾曼倍氏。コノ二大族ノ祖先ソノ剛
 毅ニシテ。撓ザルコノ事跡。尤モ焯トシテ。人ノ耳目ヲ照
 セリ。世ニ傳ハルトコロノ話説ヲ。下ニ録出ス。
 (三)カ查福禮釘ヲ造ルノ秘ヲ探ント欲シ。艱難ヲ冒
 ス事
 *カ查福禮ハ。福禮氏ノ元祖ニシテ。ソノ父ハ。斯土比日ニ近
 キ邑ノ小農ナリ。コノ時ニ當リ。コノ地ハ。中省ノ製鐵場ノ
 アルトコロナリケレバ。コレヲ以テ。口糧ヲ得ルモノ多カ
 リ。福禮モ。釘ヲ造ルヲ以テ業トセリ。コノ時。英國ニテ。鐵條

Richard Taylor
ヲ分チ釘ヲ造ル業未ダ拙劣ニシテ大ニ功カヲ勞シ光陰
ヲ費シケル故福禮ハ毎日コノ業ヲ操作シナガラ何デ簡
便ニ製造スル法モガナト思シガソノ後斯比日ノ釘匠
次第ニ職業ヲ失ヒ衰頹ノ氣象ヲ爲タリコレ何故ゾトイ
フニコノ時瑞典ノ人機器ヲ用テ鐵ヲ折キ工カヲ煩サズ
シテ釘ヲ造リ低價ヲ以テ英國ニ輸入スルニ由リ福禮コ
ノ事ヲ聞キ忽チ凶失テソノ往トコロヲ知ズ數年ノ間絶
テ消息ナカリケリサテ福禮ハ瑞典ニ往キ釘ヲ造ルノ秘
ヲ窺ハント欲セシガソノ事ノ四方ニ洩レ聞エントヲ恐
レ家人ニモ告ズシテ竊ニソノ郷ヲ出タルナリ囊ニ錢財
ナク特ニ一ハ絃弓ヲ携ルハミハル河口ヨリ舟ニ乗テ瑞
典ニ着シケル後絃弓ヲ彈シ乾巧トナリテダン子モラノ鐵

礦ニ至リ福禮ハ音樂ニ巧ムルテ且天性快活ナル人ナル
ニ由テ大ニ製鐵場ノ工人ニ歎愛セラレ何ノ處ニモ到ル
コトヲ許サレケル故ニ毎ニ機會ヲ失ハズシテ觀察ノ功
ヲ積ミ鐵ヲ折ク所以ノ方法ヲ研究シ久シテソノ心ニ把
握スルトコロアルヲ覺ケレバ忽チ其所ヲ立去リケリ
英國ニ歸テソノ得ルトコロノモヲ以テソノ鄉村ニ語
リケレバ邑人コレヲ信ジ本錢ヲ出レソノ言ニ從テ機器
ヲ造リ工場ヲ建タリシガコレヲ運用セント欲スルニ及
ンデ機器動カマシテ鐵條折ザリケレバ福禮ヲ始トシテ
衆人大ニ失望ス時ニ福禮再ビ見エズナリニケリ人ニナ
福禮ソノ失敗ヲ耻テ永ク何ノ地ニカ逃去シナラント思
ヒタリケリ然ルニ福禮ハ鐵ヲ折ノ秘事ヲナボモ究極セ

*William Phipps.

ント欲シ前ノ如ク絃弓ヲ携テ瑞典ノ鐵礦ニ赴キタリ。エ
 ノ地ノ工人交バツノ來ルヲ歡接シ且福禮ハ純粹ノ樂人
 ナリト思ヒテ遂ニコレヲシテ鐵ヲ折ク工場ノ中ニ寓居
 セシメタリ。福禮絃弓ヲ彈ズルノ外伴テ痴騷ヲ粧シケレ
 バ工人マス疑トコロナク永ク留メテ歡娛ニ供セント
 欲セリ。福禮心ヲ留テソノ作工ヲ查察シソノ失敗ノ由ヲ
 悟リ又器械ノ圖ヲ作りソノ運用ヲ審ニシ久シク光陰ヲ
 度リ造釘ノ事ソノ心ニ了然トシテ明白ナルヲ覺エケレ
 バ出走テ英國ニ歸帆ス。福禮歸リテ後コレヲ試ミケルニ
 コノ同ハツノ功十分ニ成就セリコレヨリ益々勤勉シテ
 工事ヲ興シケレバ獨リソノ家ヲ富シハハハタテス。斯土
 比日ハガク貨財生殖ノ郷トハナリニケリ。

福禮斯土比日ニ一ノ學校ヲ建テ郷人ニ惠賜セリソノ子
 托馬士烏斯德ノ知府トナリシモノスウインフルドニ惠民院
 ヲ設ケ子女ヲシテ費銀ヲ出サシメテ學ブヲ得セシメ
 タリ。英王查爾斯第二ノ時封セラレテ貴爵ノ家ニ列セリ。
 四維廉費布士沈船ノ貨財ヲ搜リ出ス事
 諾曼倍族ノ先祖維廉費布士ハ一千六百五十一年亞墨利
 加ノ編ニ生ルソノ父ハ銃工ニシテ男子二十一人女子五
 人アリ故ニソノ子ヲ教養スルニ備ラズ。後來ハ命運ハ各
 フハ心思ノ才軀幹ハカニ任セタリ。費布士小時羊ヲ牧ス
 ルヲ以テ業ト為シガ天性剛毅ニシテ險ヲ冒スノ氣象ア
 ルガ故ニ舟人トナリ世界ニ歷遊セント欲セシカドモソ
 ノ便ヲ覓メ得ザレバ先ツ造船工ノ徒弟トナリ盡クソノ

術ヲ習ヒ曉リ。後ボストンニ移リテ婦ヲ娶リ。自ラ己ノ船ヲ造リ。材木ヲ賣買シ。凡ソ十年ノ間。カクシテ在リケル。一日ボストンノ街ヲ過ル時。偶々水夫相語りテ。方剛バハマスノ港ニテ。士班ノ船多ク金銭ヲ積ルモノ破レ沈ミタリト言フ。聞キ。費布士險ヲ冒スノ精神。忽チ生シ。急ニ水手ヲ集テ。バハマスニ向テ船ヲ駛ケリ。聞シニ違ハズ。ソノ破船ノアリケルヲ看出シ。許多ノ船貨ヲ獲タリシガ。金銭ハ甚ダ少クシテ。僅ニ費用ニ充ルバカリナリ。然レモ。コレニ由テ。艱險ヲ輕シ。大事ヲ圖ント欲スルノ念。益々生シケル。時シモ他人又費布士ニ語ルモノアリテ。五十年前ニ士班ノ許多ノ金銀ヲ載ル船ポートデラフラタニ壞レ沈ミタルトアリト曰ケレバ。費布士。コノ水中ノ寶庫ヲ漁獵スベシト。忽チ思

ヒ起セリ。費布士家貧シカリケレバ。カクノ如キ大事ハ。有力者ノ助ヲ假サレバ。為シ得ベカラズト思ヒ。英國ニ航シ。直ニ官府ニコノ事ヲ請ケリ。官吏ノ心。例惜董ナルモノハ。レバ。費布士ノ熱心懇求ニ動サレテ。英王查爾斯第二ニ聞エ。遂ニ十八門ノ炮。九十五人ヲ具タル船ヲ借シ與ベ。且命ジテ船主トナサレタリ。費布士難ナク。ヒスパニアノ海岸ニ至リ。士班ノ沈船ヲ覓メシガ。五十年前流傳ノ説ナレバ。踪跡スベキ定所アラズ。因テ海邊ニ傍ヒ。水底ヲ撈ル。數十日ノ久シキニ及ベドモ。牽上ルモノハ。特ニ海草石塊ノミナリケレバ。舟人大ニ倦ミ疲レ。吾等カナル事ニ使ハル。コソ淺マシケレト。互ニ私語テ。費布士ヲ怨ケリ。

既ニシテ船中ノ人公然トシテ船主ニ叛キ或日一隊ノ黨
 船板上ニ突進シ工ノ企ヲ止シテ求メタリ費布士ハユ
 レ等ニ驚ベキ怯者ニアラザレバ叛亂ノ頭人ヲ縛縛シ
 ノ餘ノモノヲシテ退テソノ職事ヲ執ラシメタリユハ時
 船ヲ修復スベシトテ小嶋ニ近ヅキ錨ヲ卸シ船載ヲ輕ク
 センタメニ什物ヲ大半陸ニ上セタル時水手ノ岸ニ登ル
 モノ再ヒ反計ヲ畫シテ船ヲ奪ヒ費布士ヲ水ニ投ジ南海
 中ヲ巡リ劫掠ノ事ヲ為スベシト企ケリ費布士ハコレ等
 ノ備ニトテ兼テ一ノ忠實ナル木工ヲ腹心ノ人ト頼ニ置
 ケルガコノ時備ニ水手ノ謀ヲ語ケル費布士コレヲ聞テ
 急ニ船中ノ己ノ意ニ合人ニ命ジテ銃鎗ニ火藥ヲ装セシ
 ノ船ヨリ陸ニ通スル橋ヲ排陳セシメタリ謀反セル水手

近キ見エケレバ費布士コレニ向ヒ汝等モレ岸上ノ船貨
 ニ近バ炮ヲ放ツベシト言テ水手ヲ引キ退カシメ盡ク貨
 物ヲ船中ニ運ビ返セリ反亂スル人コレヲ見テ不毛ノ嶋
 ニ捨置ンテヲ懼レ兵器ヲ投棄テ再ビソノ職事ヲ勤ムベ
 シト降伏哀求シケレバ費布士因テ後來マタカクノ如キ
 惡事ヲナスマシキヲ告戒シテソノ請ヲ許セリ費布士
 オモヘラク英國ニ歸リ船ヲ修復シテ然後マタ再舉ヲ圖
 ルベシト遂ニ倫敦ニ歸ル抑モコノ回ハ沈貨ヲ看出ナス
 ト雖モ必ズコノ邊ニアルベシト思フトコロノ目的立ケ
 レバ險ヲ冒ノ志マス強クナリニケリ
 倫敦ニ歸テ後費布士ソノ有レコトドモヲ水師提督ニ語
 リ王ノ他船ヲ借ンテヲ請ケルガコノ回ノ利ナキヲ以テ

信用セラレズ。且、惹迷斯第二新ニ位ニ即キ。政府發機ナル
 ガ故。コレ等ノ説ヲ聽入レザレバ。費布士因テ國民有志ノ者
 ヨリ。金ヲ集メテ。コノ事ヲ企テント。欲セリ。始ノ程ハ衆人
 ニ笑ハレタリシガ。ソノ懇請ノ已ナキニ由リテ。次第ニソノ
 説人ニ信ゼラレ。四年ノ後ニ。元金ヲ出ス。モノ二十人集リ
 テ。一會社立タリ。費布士海底ヲ撈ル。一器械ヲ作ル。今ノ卷
 鐘下ノ如キモノト云リ。又印度ノ珠ヲ撈ル。没人ヲ
 催ヒ。ソノ他ノ準備具リケレバ。ボートデラフラタニ向テ發船
 ス。器械ヲ沈テ海底ヲ搜リ。ソノ他種々ノ方法ヲ以テ水中
 ノ物ヲ曳上グ。カクノ如キ。十日。勞苦シテ已ザリシガ。
 更ニ毫髮ノ功モ見エズ。久シテ後。一日船ノ側ニアリテ。清
 徹ノ水ヲ俯シ見タリシニ。珍シキ海草。岩穴ヨリ叢生スル

モノ有ケレバ。印度ノ没人ニソノ草ヲ取り來レト命ズ。赤
 人ソノ言ニ隨ヒ。水ニ下リ海草ヲ取ルニ。ソノ邊ニ許多ノ
 銃鎗アルヲ見タレバ。出來リテ。レカシカト報ズ。コノニ於
 テ。又一ノ没人ヲレテ往テ見セシメタレバ。銀條一枝ヲ抱
 テ舟ニ登リ來レリ。費布士コレヲ見テ上帝ニ向ヒ。恩ヲ謝
 シ。サテ下水鐘ヲ卸シ。没人ヲレテ沈没セル貨物ヲ引上レ
 ムルニ。數日ニシテ。ソノ事ヲ竟ケルガ。ソノ價值凡ソ三十
 萬金ノモノヲ獲タリ。費布士コレヲ携テ英國ニ歸リシニ。
 或人王ニ謂テ。費布士サキニ陛下ニ請ト雖也。コノ事ヲ精
 詳ニ言ザリキ。今コレヲ名トシテ。ソノ船及貨物ヲ没取シ
 玉ヘトイフ。王コタヘテ。否我ハ費布士ノ正直ナル人ナル
 トヲ知リ。タトヒ彼コレニ倍スル貨物ヲ獲タリトモ。彼ト

彼ハ朋友ニテ分チ取ルベシトイハレタリ。費布士ノ得タル分ハ二萬金ナリシトゾ。王費布士ノ剛決膽敢ニシテ能ク大事ヲ成セルヲ以テ、奈的ノ爵ヲ以テコレヲ褒賞ス。ワ後費布士マタ擢ラレテ新州府ノハイレロソフガ知府ト云トナル。ワノ官ニ在ル時ポートロー及ビ貴壁ノ戰ニ武功ヲ顯ハセリ。マタ馬洩朱些斯ノ總督トナリ。ワレヨリ英國ニ歸リ。倫敦ニ於テ没ス。時一十六百九十五年元禄ナリ。

五 戰功ニ由テ貴爵ヲ得タル人

海陸ノ戰場ニ於テ武勇ヲ振ヒ、貴爵ヲ得タル人。マタ少カラズ。納爾森、閔仙都、立翁士、空林登、希爾、哈爾、定日、古雷德ノ如キ。ワノ尤モ表々タルモノナリ。

六 狀師等ヨリシテ貴爵ニ陞ル事

律法ノ學ヲ修メ、狀師ノ職ヲ行ヒ、清廉老實ニシテ次第ニワノ身登進シ、貴爵ニ陞ルモノ甚ダ多シ。現今英國ニ於テ狀師ヨリ興ル貴爵ノ家七十餘アリ。其他雜貨舖ノ子名ゾイシ法教ノノ子、手工ヲ業トスルモノ、子ヨリ登進スルモノ、車官マタ少カラズ。蓋コレ等ノ人、父祖ノ蔭ニ藉テ、自己ハ勤勉、勞苦ニヨリテ、富貴ノ地位ニ至ル。真ニ後人ノ表樣トナスベキナリ。

斯邁爾斯自助論第七編終

